

平成20年4月18日  
消 防 庁消防防災ヘリコプターの効果的な活用に関する検討会  
平成19年度報告書（中間とりまとめ）の公表

消防庁では、平成19年10月から、「消防防災ヘリコプターの効果的な活用に関する検討会」（座長：吉井博明東京経済大学教授）を開催し、空中消火技術のより効果的な活用、消防防災ヘリの救急活動への積極的活用及び365日・24時間運航体制について検討を行ってまいりました。

平成19年度は、本検討会を2回開催するとともに、作業部会の「空中消火技術のより効果的な活用ワーキンググループ」を2回、「救急活動への積極的活用分科会」を2回、「365日・24時間運航体制分科会」を1回開催し、各検討項目の課題の抽出・整理を中心に議論を進め、今般、これらの検討結果を、「平成19年度報告書（中間とりまとめ）」としてとりまとめましたので、公表いたします。

なお、本検討会は、発足当初平成21年度末に最終報告書をとりとまとめる計画でしたが、消防航空行政を取り巻く時流の変化を踏まえ、これを前倒しし、平成20年度末に最終報告書をとりとまとめることとしました。

〔資料〕

- 1 [消防防災ヘリコプターの効果的な活用に関する検討会・平成19年度報告書（中間とりまとめ）の概要](#)
- 2 [「消防防災ヘリコプターの効果的な活用に関する検討会」メンバー等一覧](#)

[（消防防災ヘリコプターの効果的な活用に関する検討会・平成19年度報告書（中間とりまとめ）](#)は、総務省消防庁ホームページに掲載（<http://www.fdma.go.jp/>）。



（連絡先）

消防庁応急対策室

担当：大塚航空専門官、山本航空係長

電話：03-5253-7527

FAX：03-5253-7537